

2016年3月7日

## 「2016 J-Win ダイバーシティ・アワード」2度目の大賞を受賞 ～企業賞アドバンス部門大賞～

第一生命保険株式会社(社長:渡邊光一郎)は、このたび特定非営利法人 ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワーク(略称:NPO法人 J-Win)が主催する「2016 J-Win ダイバーシティ・アワード」の企業賞アドバンス部門において、「大賞」を受賞しました。

「J-Win ダイバーシティ・アワード」は、ダイバーシティ&インクルージョン(以下D&I)を推進している先進企業を表彰することで、日本企業におけるD&I推進を加速することを目的として2008年より毎年実施されており、D&I推進の進み具合により、アドバンスとベーシックの2部門に分け、成果を挙げている企業が顕彰されます。

当社はこれまで、2011年に企業賞の大賞、2012年に継続賞、個人賞においても同年にリーダー・アワード、2013年には経営者アワードを受賞しており、大賞の受賞は2011年に続き、今回で2回目となります。



当社は、DSR経営<sup>1</sup>を推進するなかで、多様な個性を活かすことが新たな価値創造および持続的成長につながる  
と考え、2015-2017年度中期経営計画『D-Ambitious グループを挙げた持続的価値創造の実現』の4つの基本  
戦略<sup>2</sup>の一つとして「Diversity: グループ・グローバルベースでのD&Iの確立」を掲げています。

特に、女性活躍推進においては、2018年4月に国内生保グループ<sup>3</sup>全体で女性管理職比率を25%以上、2020年  
代の早期に30%以上とすることを目標とし、経営トップの強い信念・実行力のもと、女性職員のみならず、全社の意

<sup>1</sup> 「DSR経営」とは、グループミッション「一生涯のパートナー/By your side, for life」を追求するために、あらゆる組織単位でPDCAサイクルを回しながら経営品質の絶えざる向上を目指し、企業価値の向上を通じて全てのステークホルダーへの社会的責任を果たしていこうとする、第一生命独自の価値創造経営の枠組み。「DSR」とは、一般的なCSR(企業の社会的責任)という言葉の枠に収まらない当社独自の経営の枠組みについて、「DSR=Dai-ichi's Social Responsibility(第一生命グループの社会的責任)」と表現したものである。

<sup>2</sup> 4つの基本戦略として、「Dynamism成長戦略」「DisciplineERM」「Dimensionグループ運営態勢」「Diversityグループ人財価値」を掲げている。

<sup>3</sup> 第一生命保険(株)、第一フロンティア生命保険(株)、ネオファースト生命保険(株)

識・風土改革といった第一フェーズから、**女性リーダー早期育成の新たなフェーズへと確実に進展**させてきました。その中で、**女性リーダーを組織全体で体系的に育成**するとともに、ワークスタイル変革においても**トップダウンとボトムアップの両面から取組みを推進**しています。

この結果、2016年4月1日付で2人目の女性執行役員が誕生し、女性管理職比率は国内生保グループ全体で23.3%となる見込みです。今回の受賞は、こうした当社の取組みが評価されたものと考えています。

当社は、今後も女性活躍推進を初めとするD&I推進において最も先駆的な会社となり、持続的な成長の実現を目指していきます。

(ご参考)

NPO 法人 J-Win 「2016 J-Win ダイバーシティ・アワード」:[http://www.j-win.jp/promote/award\\_160304.html](http://www.j-win.jp/promote/award_160304.html)

当社の女性活躍推進に関するリリース:[http://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2015\\_084.pdf](http://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2015_084.pdf)

当社のD&I取組みに関する当社HP:<http://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/employee/inclusion.html>